

県内私立大学
唯一の
観光系学科

沖縄キリスト教学院大学 人文学部

観光文化学科

2024年4月 開設予定 (設置構想中)

琉球・沖縄の歴史文化を
世界へ発信!

詳細は裏面へ 

沖縄キリスト教短期大学 保育科の学科名称を

地域こども保育学科へ

2024年4月より名称変更予定 (申請予定中)

これまで長年にわたり保育科で取り組んできた教育活動をより具体的に示すため、2024年4月より、以下の内容をふまえ学科名称を変更する予定です。

※名称変更は、2024年4月入学以降の学生より適用予定

地域

沖縄という「地域」を軸として、国内外の様々な保育・幼児教育やこどもに関する地域課題の解決に貢献できるよう取り組んでいきます。

こども

幼児教育・保育の専門的知識と技術を基に、幅広くこどもの教育や福祉に関する課題について貢献できるよう取り組んでいきます。

保育

長年、本学保育科が積み重ねてきた教育活動を基に、これからの時代に求められる保育・幼児教育の在り方、こどもの健やかな発達を保障するための教育に取り組んでいきます。



観光文化学科とは

キリスト教教育による他者との協働、平和な地域社会・国際社会の実現へ貢献する人材の育成を土台にして、国内でも有数の観光地の沖縄県を主な題材に、次のことを身につけることを目的としています。

- ★アジア圏観光客にも対応できる「外国語の運用能力」
- ★『文化資源領域』で観光のソフトパワーの知識
- ★『ホスピタリティ領域』でビジネス能力や文化資源・観光資源の活用方法
- ★『持続可能領域』で文化と社会の動きを把握し、持続的な文化振興及び観光振興の発展に貢献できる能力

過去の郷土の歴史文化を学び、現在の暮らしへの繋がりや変遷を感じとり、新たな未来へ継承、創出、発信する力は、観光分野に限らず社会のあらゆる職種において生かせる能力であり強みとなる人材です。その能力を育み社会へ輩出することが本学科の役割と考えています。

養成する人材像

「光を観る」という観光の学びとして、歴史・文化の本質を理解したうえで、文化資源や観光資源の光の価値を認識し、国内外へ発信できる人材、さらに、他の地域との比較から新たな価値を創出し、文化振興や観光振興に貢献できる人材を育成します。また、企業・団体等職員による授業や海外研修、インターンシップなどの実践的な教育を強化することで、大学の教育・研究と地域社会の実態との差を無くし、観光産業発展に寄与できる優れた人材を育成します。

観光文化学科の特色

学位:学士(観光文化学)

入学定員(予定):90名

収容定員(予定):360人

「観光文化」を3つの領域で学ぶ!



- ① アジア、世界の観光客を視野に、「英語」「中国語」「韓国語」の3か国語が学べます。



- ② 歴史・文化分野を専門とする教員から、琉球・沖縄の歴史文化をしっかりと学びます。



- ③ 国際文化交流を目的とした短期の「海外研修」が必修で、異文化体験を通して学びを深めます。



- ④ 航空会社、旅行会社、宿泊業での経験が豊富で、確かな専門性を教授できる教員陣が、理論と実践の授業を提供します。



- ⑤ 企業・団体等職員の協力による授業や現場体験ができるインターンシップなど実践的な教育を強化します。



目指せる資格・検定

- TOEIC
- TOPIK(韓国語能力試験)
- グローバル人材ビジネス実務検定
- 国内旅程管理主任者
- 世界遺産検定
- ホテル・マネジメント技能検定
- 実用英語技能検定
- 中国語検定
- フードツーリズムマイスター
- サービス接客実務検定
- 秘書技能検定

想定される就職先

- 地方公共団体
- 文化振興や観光振興系のNPO法人等
- 宿泊業(ホテル等)
- 旅行業(旅行代理店、ツアーコンダクター等)
- 運輸業(客室乗務員、航空会社、船会社等)
- 製造・小売業
- 観光協会
- レジャー業 など

※設置計画内容は現時点での予定であり、変更することがあります。

